

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 MUTOHホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7999 URL https://www.mutoh-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 早川 信正  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 担当部長 (氏名) 福富 弘悦 TEL 03-6758-7100  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	12,148	△14.4	△350	—	△343	—	△339	—
2019年3月期第3四半期	14,184	△3.4	104	35.9	149	△19.0	160	245.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △253百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 5百万円 (△98.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△74.59	—
2019年3月期第3四半期	35.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	28,511	21,808	73.9
2019年3月期	28,907	22,272	74.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 21,063百万円 2019年3月期 21,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,050	△11.2	△350	—	△340	—	3	△95.4	0.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 連結業績予想の修正については、本日 (2020年2月13日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」  
 をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	5,481,818株	2019年3月期	5,481,818株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	932,022株	2019年3月期	931,449株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	4,549,852株	2019年3月期3Q	4,550,374株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済環境は、総じて景気は緩やかな回復基調が続いています。一方では、米国とイラン間の地政学的緊張の高まり、米中貿易摩擦も一定の合意で妥結との発表がありましたが、根本的な解決は長期化する見通しで景気の不透明感は継続しています。米国は、好調な雇用や個人消費など全般に堅調に推移しましたが、中国との通商交渉の先行きは不透明な状況で推移しております。欧州は、英国のEU離脱合意が実現しましたが不安定な状態は解消されておられません。中国は、消費や投資にも弱さがみられ引き続き先行きの見通しにくい情勢となっております。国内経済においては、為替の円高基調により製造業の生産活動は停滞傾向にあり、輸出の伸び悩みとインバウンド需要の下振れにより景気に足踏み感がみられます。

このような状況のなか、当社グループは、将来の成長に向けた戦略投資を行いつつ、経営体質を抜本的に強化するため、開発・生産・販売にわたる業務プロセス改革、仕組み改革を実施し、収益力向上に取り組んでおりますが、情報画像関連機器事業において、為替の円高傾向や主力の大判インクジェットプリンタ分野への大手資本の参入による価格競争の激化により海外地域の販売が伸び悩みました。

大判インクジェットプリンタにおいては、従来からの主力分野であるサイン市場に加え、成長分野と位置付ける産業向けプリント市場に注力しております。

10月には多様なメディアに対応するMPインク搭載プリンタ「VJ-628MP」および「VJ-1627MH」とブルーフィンク市場で実績のあるCGS社(独)のカラーマネジメントソフトウェアと連携し、一般商業印刷、紙器パッケージ印刷、軟包装印刷向けに「印刷本紙対応ブルーフィンクシステム」の提供を開始いたしました。当社独自のMPインクを用い、低価格でありながら高品質・高精度な印刷本紙によるプルーフを実現しました。

また、高い発色性とメンテナンス性に優れた新エコソルベントインク「MS41」インクは、世界で最も厳しい化学物質放散の規格に基づく認証プログラムであるUL GREENGUARDにおいて最上位レベルのWallcovering/壁紙用途での「GOLD認証」を取得し、環境に配慮が必要な学校やヘルスケア施設などでも「MS41」インクを使用した製品の使用が受け入れやすくなりました。

この1月には、オーダーグッズ、ノベルティ、少ロット多品種用途などの印刷業界向けに省スペース型フラットベッドLED-UVプリンタの新製品「XpertJet 461UF」「XpertJet 661UF」の2機種を同時発売いたしました。MUTOH新開発の「LED-UVランプ ローカルディミング制御技術」(特許出願中)を採用したことで、より質感の細やかな調整が可能となり、手軽に艶やかなグロス表現や加飾などのリアルでワンランク上の高付加価値印刷を提供いたします。

3Dプリンタにおいては、卓上タイプの高精細光造形3Dプリンタ「ML-100」「ML-80」を発売。吊り下げ積層方式と高精細Full-HD規格のデジタルプロジェクタ方式を使ったUV光硬化方式により、緻密な宝飾品デザインから製造業における精細な部品試作など、高い精度の要求される造形に適しております。MUTOHは、製造業の3D Pソリューション・パートナーとしてお客様の期待にお応えいたします。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、情報サービス事業、設計計測機器事業、不動産賃貸事業の国内販売が好調に推移しておりますが、為替の円高や情報画像関連機器事業の海外地域の販売減により、121億48百万円(前年同期比14.4%減)となりました。営業損益は、売上高の減少による売上総利益の減少により、3億50百万円の損失(前年同期は1億4百万円の利益)となりました。経常損益は、受取配当金、為替差損益、その他営業外費用等の計上により、3億43百万円の損失(前年同期は1億49百万円の利益)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、投資有価証券売却益、投資有価証券評価損、法人税等の計上により、3億39百万円の損失(前年同期は1億60百万円の利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は285億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億96百万円の減少となりました。

流動資産は150億96百万円となり、11億78百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少8億69百万円、受取手形及び売掛金の減少6億74百万円、たな卸資産の増加7億10百万円、その他流動資産の減少3億57百万円等であります。

固定資産は134億14百万円となり、7億82百万円の増加となりました。その主な要因は、建物及び構築物の増加2億79百万円、工具器具及び備品の増加1億82百万円、機械装置及び運搬具の増加10百万円、建設仮勘定の増加85百万円、無形固定資産の増加1億76百万円、投資有価証券の増加9百万円等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は67億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円の増加となりました。

流動負債は44億32百万円となり、52百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1億71百万円、未払金の減少2億9百万円、未払法人税等の減少53百万円、賞与引当金の減少54百万円、その他流動負債の増加5億50百万円等であります。

固定負債は22億70百万円となり、14百万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債の減少30百万円、その他固定負債の増加46百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は218億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億63百万円の減少となりました。その主な要因は、配当金の支払い1億59百万円と親会社株主に帰属する四半期純損失3億39百万円の計上等による利益剰余金の減少4億98百万円、その他有価証券評価差額金の増加66百万円、為替換算調整額の減少90百万円、退職給付に係る調整累計額の増加68百万円、非支配株主持分の減少9百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く経営環境は、為替レートがユーロを中心に円高傾向で推移しているとともに、米中貿易摩擦の影響で米国、中国をはじめ欧州でも投資の停滞の影響が予想以上に拡大しています。加えて、中国を発端とする新型コロナウイルスの拡大が世界経済に影響を及ぼす恐れが懸念される事態となっております。このような状況の中、大判インクジェットプリンタの新製品XpertJetシリーズの順次立上げと全世界への導入展開を中心に販売の底上げと収益力向上に取り組んでまいりますが、2020年3月期通期の連結業績は前回予想を下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたしました。なお、2019年10月29日に公表いたしました確定拠出企業年金制度の導入に伴う、業績に与える影響額等につきましては、現在精査中であり、今後、数値が確定次第、速やかに開示いたします。

業績予想に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、財務構造や将来の事業展開を勘案しつつ内部留保の充実を図り、かつ、業績に応じた配当を継続的に実施することを基本方針としております。

このような方針のもと、株主の皆様の日ごろのご支援にお応えすべく、当期の配当金は35円00銭を継続させていただく予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,102	7,233
受取手形及び売掛金	3,718	3,044
商品及び製品	2,717	3,135
仕掛品	103	105
原材料及び貯蔵品	776	1,067
その他	938	580
貸倒引当金	△82	△69
流動資産合計	16,275	15,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,507	2,787
機械装置及び運搬具(純額)	79	90
工具、器具及び備品(純額)	195	377
土地	5,211	5,209
リース資産(純額)	2	39
建設仮勘定	24	109
有形固定資産合計	8,020	8,614
無形固定資産		
その他	521	698
無形固定資産合計	521	698
投資その他の資産		
投資有価証券	3,699	3,709
差入保証金	34	31
繰延税金資産	352	343
その他	10	24
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	4,089	4,102
固定資産合計	12,632	13,414
資産合計	28,907	28,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,483	2,312
未払金	385	176
未払法人税等	145	91
賞与引当金	146	91
製品保証引当金	150	141
その他	1,067	1,617
流動負債合計	4,379	4,432
固定負債		
繰延税金負債	51	49
退職給付に係る負債	1,881	1,850
役員退職慰労引当金	35	36
その他	287	334
固定負債合計	2,255	2,270
負債合計	6,635	6,702
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,199	10,199
資本剰余金	4,182	4,182
利益剰余金	11,967	11,468
自己株式	△2,440	△2,441
株主資本合計	23,908	23,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18	48
為替換算調整勘定	△1,828	△1,918
退職給付に係る調整累計額	△543	△474
その他の包括利益累計額合計	△2,390	△2,345
非支配株主持分	753	744
純資産合計	22,272	21,808
負債純資産合計	28,907	28,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	14,184	12,148
売上原価	9,534	8,168
売上総利益	4,649	3,980
販売費及び一般管理費	4,545	4,330
営業利益又は営業損失(△)	104	△350
営業外収益		
受取利息	9	15
受取配当金	16	10
受取和解金	32	—
持分法による投資利益	1	6
その他	11	10
営業外収益合計	70	43
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	2	1
減価償却費	3	—
支払補償費	—	30
為替差損	15	2
その他	1	0
営業外費用合計	25	36
経常利益又は経常損失(△)	149	△343
特別利益		
固定資産売却益	40	1
投資有価証券売却益	123	106
子会社清算益	14	7
特別利益合計	178	115
特別損失		
固定資産売却損	5	0
固定資産廃棄損	28	1
投資有価証券売却損	29	—
投資有価証券評価損	8	22
特別損失合計	71	23
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	256	△251
法人税等	59	54
四半期純利益又は四半期純損失(△)	196	△306
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	32
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	160	△339



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	196	△306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187	54
為替換算調整勘定	△3	△85
退職給付に係る調整額	42	66
持分法適用会社に対する持分相当額	△41	17
その他の包括利益合計	△190	52
四半期包括利益	5	△253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12	△294
非支配株主に係る四半期包括利益	18	40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。